問題3 次の待ち行列理論に関する設問に答えよ。

ネットワークシステムにおいては、待ち行列が発生する。待ち行列での待ち時間が 長くなれば、応答時間が遅くなりシステムの大きなネックになってしまう。このよう な問題の対策として、待ち行列を図のようにモデル化して考える。

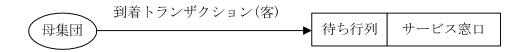


図 待ち行列モデル

母集団から発生した1件のトランザクション(客)は、待ち行列に到着する。そしてサービスが開始されるまで待たされることになる。その後サービスを受けて(処理されて)行列から抜け出す。この一連の流れの中で、待ち行列の長さ(待っている客数)や、待ち時間、到着してから抜け出すまでの時間などを、モデル化して平均的に求めることができる。

モデル化する場合,次の点を考慮する必要がある。

- ① 客の到着分布
- ② 窓口でのサービス(処理)時間の分布
- ③ 窓口数

待ち行列モデルの記述についてはケンドールの記号を用いて, $\mathbb{Q}/\mathbb{Q}/\mathbb{Q}$ のように表現する。 \mathbb{Q} と②には確率分布の記号を使う。

代表的なモデルのM/M/1とは、ランダムに到着し(ポアソン分布)、サービス時間もトランザクションにより異なる(指数分布)で、窓口数は1であることを表している。

<設問> 次の代表的な待ち行列モデルM/M/1に関する記述中の に入れる べき適切な字句を解答群の中から選べ。

待ち行列理論のシステム特性を表す主な尺度を次に示す。

表 待ち行列の主な	人尺度	
-----------	-----	--

名称	記号	説明
平均到着率	λ	単位時間に到着するトランザクションの平均数
平均サービス率	μ	単位時間にサービスするトランザクションの平均数
平均到着間隔時間	t _a	到着するトランザクションの平均間隔時間
平均サービス時間	ts	サービスを受けるトランザクションの平均処理時間
窓口利用率	ρ	単位時間当たりの窓口利用率
平均待ち行列長 [ī	$\rho^2/(1-\rho)$ で計算される待ち行列内のトランザク
	$\mathbf{L}_{ ext{q}}$	ション数

まず、窓口利用率を考える。単位時間にサービス窓口がサービス(処理)を行って いた割合であるから、表中の記号を使って窓口利用率を表すと、 $\rho = t_s \times \lambda$ で求めら れる。

次に、平均待ち時間W_aを考える。トランザクションが到着したとき、窓口でサービ ス中のトランザクションも含めて($L_a + \rho$)個のトランザクションが、待ち行列系内に 存在している。この系内に存在するトランザクションが、サービスを受けて待ち行列 から抜け出すまでの時間であるから、表中の記号を使って、 $W_q = \rho/(1-\rho) \times t_s$ で求 められる。

最後に、到着してから窓口でサービスを受けて抜け出すまでの平均時間 toを考え る。これは、平均待ち時間とサービス時間の合計であるから、t_q= (1) で求めら れる。

今,1分間に平均9件のトランザクションが到着し,1件当たりの平均サービス時間 を 5 秒とする。この場合、単位時間を窓口で 1 分とすると $\lambda = 9$ (件/分),

 $\mu =$ (2) (件/分), $t_a =$ (3) (分/件), $t_s =$ (4) (分/件)となり, ρ は (5) となる。この窓口利用率の値が (6) を超えると、処理能力を超えるこ とになる。また、W。は (7) 秒, t。は (8) 秒となる。

(1) の解答群

$$\mathcal{T}$$
. $\frac{1}{1-\rho} \times t \in$

$$\checkmark$$
. $\frac{1}{1-a} \times t$

$$\mathcal{P}. \frac{1}{1-\rho} \times t = 7. \frac{1}{1-\rho} \times t = 7. \frac{\rho}{1-\rho} \times t = 7. \frac{\rho}{$$

$$\pm . \frac{\rho}{1-\rho} \times t s$$

才.
$$\frac{\rho^2}{1-\rho} \times t$$
 a

エ.
$$\frac{\rho}{1-\rho} \times t$$
 s オ. $\frac{\rho^2}{1-\rho} \times t$ a カ. $\frac{\rho^2}{1-\rho} \times t$ s

(2) ~ (4) の解答群

ア.
$$\frac{1}{12}$$
 イ. $\frac{1}{9}$ ウ. $\frac{1}{5}$ エ. 1

$$\vec{A} \cdot \frac{1}{9}$$

ウ.
$$\frac{1}{5}$$

(5), (6) の解答群

ア. 0.4

イ. 0.45 ウ. 0.5 エ. 0.75 オ. 1.0

(7), (8) の解答群

ア.5

イ. 10 ウ. 15 エ. 20

才. 25